

info mart

2010 WINTER



●MUSE INTERVIEW |p2-3

新世紀ギターの潮流Ⅱ <スペシャル座談会>
福田進一vs鈴木大介vs大萩康司vs村治佳織



●MUSE INTERVIEW |p4-5

白石加代子「百物語」シリーズ第一夜
伝説の第一夜が蘇る！



●CLOSE UP MUSE |p14

ダン・エッティンガー指揮
東京フィル ベートーヴェン「第九」が
ミューズに初登場！



新世紀ギターの潮流Ⅱ

The current of a new century guitar Ⅱ

スペシャル
座談会



2011年2月5日(土)
福田進一
Shin-Ichi Fukuda

曲目
○J.S.バッハ:組曲 ト長調
BWV1009、組曲 二長調
BWV1012○パガニーニ
(フェルナンデス&福田
進一編曲):グランド・ソ
ナタ○野平一郎:ミュー
ズ委嘱新作初演 ほか

好評発売中!

鈴木 なんか権代さんは佳織ちゃんのファンみたいなんだよね。佳織ちゃんのコンサートに行ったとも言っていたし…。本当は佳織ちゃんに曲を書きたかったんじゃないの。
村治 そうなんですか？権代さんはメシアンに傾倒されて、カトリック的な精神的に深い曲をたくさん書かれていますよね。
鈴木 その権代さんがどんなギター曲を書くのか本当に楽しみです。
福田 ぼくは、今回の新作は野平一郎さんをお願いしました。野平さんとは古い付き合いで、パリの留学時代には一緒に酒を飲んだり、野平さんのピアノ伴奏でカラオケをしたり失礼なことをたくさんしました(笑)。1982年に野平さんの「アラバスクⅣ」という曲を初演しました。それ以来、野平さんはいくつものギターの作品を手がけられていて、ギターのことをもう完全に熟知しています。だから、書かれた楽譜に演奏不可能な音がないんですよ。それに、最近の野平さんの曲は単音の力が強い濃密な音楽だから楽しみですね。その他は、明るく響きの華やかな曲を集めてみました。バッハにはイタリア的なものを感じますし、イタリアのパガニーニのソナタも華やかな作品です。パガニーニは友人の

鈴木 ベートーヴェンのピアノは32曲、モーツァルト、ハイデルも入れたら、ものすごい数があるからね。
福田 だから、今生きている人たちにいい曲を書いてもらわないと。
村治 私は、皆さんがよく知っているメロディをギターソロに編曲していただいて、数多くアルバムに収録しています。10代の頃から福田先生の姿をずっと見てきたから、新しいもの現代のものを弾くのは当たり前。こういうもの

2011年1月8日、16日、23日、2月5日の4回にわたり、
ミュージックキューブホールにおいて、
第2回目となる連続ギター・シリーズを開催します。
今回のミュージックインタビューは、
公演を心待ちにされている皆さんに贈る特別企画。
福田進一さん、鈴木大介さん、大萩康司さん、
村治佳織さんによる素敵なお話をご紹介します。

皆さんの
ご来場を
キューブホールで
お待ちしております!

会場となるキューブホール



2007年以降の「ギター！シリーズ」の開催です。今回は「バッハを含む古典的名作」「新作初演を含む現代の名作」というテーマを設けました。それぞれのプログラムの意図を聞かせてください。

鈴木 ぼくは、「祈り」と「ラテン」というのをキーワードにしてみました。バッハの作品には深い「祈り」を感じますし、大好きなバリオスの「大聖堂」にも祈る感覚が含まれています。ピアノは来生が生誕90年の記念の年ですのでぜひ弾きたいと思っていました。そしてフランスでも、ぼくはフランスの協奏曲を日本初演したのでとても思い入れのある作曲家です。委嘱作は猿谷紀郎

フェルナンデスと意見交換をしながら編曲した楽譜を使う予定です。

今回のギター・シリーズの特別企画として、4人でギター・カルテットを組んでいただき、そして日本作曲界の重鎮である湯浅譲二さんに新作を依頼することができました。

鈴木 ギター・カルテットができるのも嬉しいんですけど、湯浅先生に書いていただけると光栄ですよ。武満徹さんと同じ年の本当に偉大な作曲家ですからね。

福田 実はね、今回湯浅先生に作曲を頼んだんだけど一回断られたんだよ。だけど、ある演奏会の打ち上げで湯浅先生と隣の席になったら先生が「一回断ったけど軽いものなら書けるかな？」っておっしゃるんですよ。先生は「軽いものだからね。ギフとみたいなね」って。どんな作品ができるか楽しみです。

大萩 初めて4人で演奏したのは、静岡のAOOですよ。カルテットはいくつも楽しみだけど、楽譜がで上がってそれぞれ練習して、4人集まって音がでる瞬間が待ち遠しいですね。自分は演奏しながら聴いているけど、最前列とかで聴くお客さんがうらやましいな(笑)。

皆さん、新しい曲を生み出すこと、演奏すること、とても情熱をお持ちですね。

鈴木 そう。だってギターはピアノやヴァイオリンみたいに曲がたくさんないからね(笑)。

福田 古典時代のギター・ソナタって10曲もないよね。

鈴木 ベートーヴェンのピアノは32曲、モーツァルト、ハイデルも入れたら、ものすごい数があるからね。

福田 だから、今生きている人たちにいい曲を書いてもらわないと。

村治 私は、皆さんがよく知っているメロディをギターソロに編曲していただいて、数多くアルバムに収録しています。10代の頃から福田先生の姿をずっと見てきたから、新しいもの現代のものを弾くのは当たり前。こういうもの

さんをお願いしました。猿谷さんとは長い付き合いですが、今回は10分を超えるような何楽章かに分けて欲しいとお願ひしましたが、それ以外とはかく自由に書いてお話ししていただきます。もともとはエレキギターの世界の人のために、最近ではアコースティックのナチュラルでオーガニックな音の良さをすごく活かしてくれらるんですよ。

大萩 今まさに生まれてくる新しい作品と、音楽の要素が凝縮されたバッハの作品を一つのコンサートで楽しめるのはいいですね。自分がお客さんならそういうコンサートを聴きたいです。バッハは一生をかけて取り組む作品ですし、バッハへの向き合い方を通して4人の個性がでると思っています。ボンセのソナタは、アンドレス・セゴビアの時代の素晴らしいギター作品を勉強し直したいと思って取り上げました。プロウエルは、ぼくがハバナのコンクールに出場した時に出会った曲ですが、それから十数年たって今では多くの人の耳に溶け込める現代の古典になっていると思います。それを確かめたくて演奏しようと思いました。新作をお願いするのは自分より若い作曲家の小出稚子さんと、一緒に出光音楽賞を受賞したのがきっかけで知り合いました。ギターで遊ぶというか、今まで聴いたこともないようなフレーズが飛び出したり

2011年1月8日(土)
鈴木大介
Daisuke Suzuki

曲目
○J.S.バッハ:組曲 ト短調
BWV1011○バリオス:大
聖堂○フランセ:パッサ
カリ○猿谷紀郎:ミュー
ズ委嘱新作初演○ピアン
ラ:ギターのための5つの
小品

好評発売中!



と聞いていました(笑)。これからも、新しいものに取り組んでいきたいですね。

大萩 ぼくも新しい曲が生まれる瞬間がとっても好きです。学生の頃もブルーノの初演とか聴きに行つたけど、なんか訳がわからなくてもわくわくするんですよ。

福田 ほかの楽器は過去の遺産があるから、安住しすぎかな(笑)。

鈴木 23世紀とか25世紀とかに、われわれが初演した曲が残っていて誰かに語られていたら嬉しいね。

今後チャレンジしてみたいことはありますか。

福田 やっぱ、ギターは傑作の数が増えて多くはないから、良い作品が生まれてそれをギタリストの共有財産として広められたら嬉しいね。ホールが新作を委嘱するっていうのは日本では多くないからね。

鈴木 今回のシリーズも委嘱作があるのはありがたいですね。所沢ミュージックのために作曲したって人が現れるんじゃないの？

大萩 ぼくは、ギターと何かほかの楽器とか、ブラッスアルファから何か新しいものが生まれたいなと思っていますね。

村治 ギターって2000人のホールで弾いたり、小さな空間で何人かの人が弾いたり色んな可能性がありそうですね。同じ楽器なのにそれぞれのギタリストが本当に色々な取り組みをしているのがすごいと思います。



2011年1月16日(土)
大萩康司
Yasuji Ohagi

曲目
○J.S.バッハ:組曲 ホ短調
BWV996○金子仁美:フ
ェリシタシオン! 2009
○ボンセ:ソナタ 第3番
二短調○ブローウェル:
ソナタ○小出稚子:ミュー
ズ委嘱新作初演 ほか

好評発売中!

する曲で完成がとつても楽しみですね。香草(ハーブ)をテーマにした曲で、どんな香りのする曲になるか今からわくわくしています。
村治 私はバロック時代からヘンデルとバッハという2人の大作作曲家の作品を演奏します。ヘンデルは私が17歳の時にレコーディングしたCDにも入っていますが、私の誕生日に福田進一先生が編曲してプレゼントしてくださった曲です。

福田 佳織ちゃんヘンデル弾くの？わくわくしないなあ(笑)。
村治 とつても想い出深い曲ですし、久しぶりに弾くので自分でも楽しみですね。それとバッハは2007年のCDに入れたパルティータの第2番を弾きます。

福田 最後の「シャコンヌ」大変でしょう？
村治 そうですね。「シャコンヌ」はとっても大変な曲ですけど、昔から練習してきましたし、演奏会でもよく弾くので、最後の「シャコンヌ」まで来ると知ってる場所へ帰ってきたようで少しホッとします。パルティータの第2番全曲を演奏するのは久しぶりなのでこれも楽しみですね。権代敦彦さんへの委嘱は、鈴木大介兄さんに相談して決めました。私は権代さんとはあまり面識がないのですが…。

2011年1月23日(日)
村治佳織
Kaori Muraji

曲目
○J.S.バッハ:無伴奏パ
ルティータ第2番 二短調
BWV1004○権代敦彦:
ミューズ委嘱新作初演
ほか

スペシャル・カルテットも!

奏者全員が集結した
ギター・カルテットを予定。

完売御礼



鈴木 家族で行く回転寿司の良さもあれば、職人の握る高級寿司屋の良さもある、みたいな感じだね(笑)。それぞれ両方の良さがあるからね。
福田 そつそつその通り！大介うまいこと言っね！(笑)。話しながらしゃべったけど、ミュージックキューブホールはギターを聴くには理想的な環境だから、ぼくの友人も言っていたけど、キューブで聴いた人はまた聴きたくなるんじゃない？
鈴木 そう。良い環境で音の隅々まで聴こえるからね。ワイン・ソーワインを飲むようにじつくり味わって欲しいですね。

本日はどうもありがとうございました。連続ギター・シリーズを楽しみにしています。

ミュージック委嘱作品を
手がける作曲家

1月23日(日)の公演では奏者4人全員が集結したギター・カルテットの演奏を予定。湯浅譲二さん作曲のミュージック委嘱新作を初演します。



●湯浅譲二
●野平一郎
●猿谷紀郎

1月23日(日)の公演では奏者4人全員が集結したギター・カルテットの演奏を予定。湯浅譲二さん作曲のミュージック委嘱新作を初演します。



●野平一郎
●猿谷紀郎
●小出稚子
●権代敦彦

好評につき 4公演セット券 完売

2011.1.22(土) 開場17時30分 開演18時 マーキーホール
白石加代子「百物語」シリーズ第一夜

白石加代子「百物語」

—シリーズ第一夜—

2011年
1月22日(土)
開催



この世で一番怖いのは人かもしれぬ。白石加代子が切りとる人間のドラマ「百物語」

「百物語」と聞くと、すぐに想い起こすのが「怪談話」のひとつの形式。日本の口ウソクを灯し、みんなが怖い話を持ち寄って語り聞かせ合う。ひとつの話が終わると、口ウソクをひとつずつ消していく。

100話を語り終えてすべての口ウソクが消えると、本物のお化けが現れるというものです。白石加代子の「百物語」は、古今東西の文学作品の中から怪談奇談を厳選して舞台にかけてきました。18年前の第1話からすでに90話を数えました。

本人も「百物語」は私の演劇人生の大きな柱のひとつ」と位置づける企画。怖く恐ろしく、また悲しくもせつない舞台に、あなたは怯えますか？感動しますか？笑いますか？さあ、そろそろ「百物語」の幕が上がります。

「百物語」の誕生秘話

最初にプロデューサーから「朗読をやってみないか？」という企画をいただいた時には、まったくやる気はなかったのです。朗読というのも好きではなかったし、役者というの言葉が身体に入れて、コナしてから舞台の上で表現するものと考えていたもので、朗読を自分の仕事としてやるなんてことは、思ってもいませんでした。

ところが、プロデューサーはあきらめずに「裸電球ひとつの下で、本を読んでいる様子もなかなかだよ。きつと絵になるよ」なんて言って、乗り気ではなかった私を口説いてくれたのです。その頃の私は劇団を辞めて、時間的に余裕があったこともあり、結局は説得させられちゃいました(笑)。

でもテーマは、私が演るなら「怖いもの」とプロデューサーが決めていました。イメージはラジオドラマのようなものを勉強会ふうに、小さなホールで細々とするものと考えていたんです。

マーキーホールで「百物語」

「百物語」の演目は、古くは円朝、鏡花の世界から、新しいものでは今一番売れているベストセラー作家の作品まで幅広いものになっています。怖さには、怪談や奇談、摩訶不思議なもの、滑稽なもの、思わず噴き出しちゃうようなものなどいろいろあります。共通しているのは、どれも一級の文学作品であるということ。役者は美味しい言葉が好きです。美味しい言葉をいただくのが気持ちいいんです。それをお客様に感じていただきたいと思っています。

作家の中には、わざわざホールにまで足を運びになり、ご自分の作品が、どれほどポロポロにされているかを確かめに来る方もいらっしゃいます(笑)。宮部みゆきさんは、「ご自分の作品であるにもかかわらず、「どうなっちゃうのかと、ドキドキしながら拝見したわ」などと言ってくださいました。やはり文字で表現されたものと、演劇的に演出されたものでは違うんですね。

マーキーホールは、以前に「メアリスチュアート」を演らせていただいたことがあり、幕が上がって客席を見渡したら、あまりにも素敵な空間なので、「瞬心を奪われてしまった記憶が鮮明に残っています。そこに私が大切にしている「百物語」の第一夜を携えて帰ってくる事ができるのは、大変うれしいことです。第一夜は、夢枕獯さんの「ちようちゃんが割れた話」、「二ねん三くみの夜のプランコの話」、筒井康隆さんの「如菩薩団」、半村良さんの「筆筒」という4話で構成されています。どの回も皆さん褒めてくださるんですけど、節目節目で「やはり、なんとと言っても第一夜が良かったわ」と言ってください。是非皆さんに「第一夜」を楽しんでいただければと思っています。

演出家鴨下信一さんのこと
鴨下さんという演出家は、本当にたくさん情報をご自分の血肉にされていらっしやる方で、どこのボタンを押してもワアツと情報があふれてくる。しかも上質で上等な情報があふれてくるんです。最初に企画の話をした時もそうでしたし、それ以降の演目の選定にでもそうです。

当初私たちは、この企画を「B級エンターテイメント」と考えていたのですが、鴨下さんがどんな世界に近づけてくれたんだと思います。あの方は演出に関して、とてもグルメなので、観客に美味しいものを食べていただきたい、と考えていらっしやるんですね。上質な食材を使って、一流のテクニックで、なおかつオリジナルな調味料を利かせて食べていただく。そんな味付けをされるシェフなんです。それは私という女優に対してでもあります。私も最初は演目の選定にも口を出していましたが、今ではすっかり鴨下さんにお任せしています。私が「こんなのはできない」と思っていたようなものでも、鴨下さんの演出だとできてしまうんです。これまで存在感の強さで勝負していた自分が、優さや弱さを不安なく表現できるようになっている。ばかばかしさや滑稽さといった笑いの表現をしている自分がいる。鴨下さんを怖い演出家だとおっしゃる役者さんいらっしゃいます。私にとっては、とても具体的にわかりやすい演出をしてくださる方です。

あの方は役者の身体表現のツボをよくご存知なんです。例えば、「足を半歩こちらにズラしてください。そうすると、表現がこんな風になります」と指摘してくださいます。私の演技の可能性、表現の可能性を上手に導きだしてくださるんです。心を開くのはあまり上手なほうではありませんが、鴨下さんには自分をあずけることができ、そこに新しい自分を発見できるんです。

白石加代子 Kayoko Shiraishi

1941年、東京都港区麻布生まれ。67年、劇団早稲田小劇場(現SCOT)に入団。70年、鈴木志志構成演出による「劇的なものをめぐって〜II」に主演。その衝撃的「狂気の演技」は、黎明期小劇場運動の起爆剤ともなった。次に、「トロイヤの女」を始めとした、数々のギリシャ悲劇に主演。世界80都市を巡演し、日本の現代演劇を世界に向けて発信する魁となる。89年、SCOTを退団。「メアリスチュアート」の宮本亜門を始めとし、鶴山仁「十二夜」、鴻上尚史「コードーを待ちながら」、野田秀樹「虎」、鈴木裕美「おやすみお母さん」、野村萬斎「盗盗人」、長塚圭史「ビューティー・クイーン・オブ・リナーン」等、現代を疾走する演出家の作品群に出演。特に、蛭川幸雄作品には、「真夏の夜の夢」「身毒丸」「グリーンズ」「ペリクリーズ」「天保十二年のシェイクスピア」「コリオレイナス」「ムサシ」等、度々出演し、際立った存在感をもって衆目を集めた。92年、ライフワークとして、鴨下信一演出による、白石加代子「百物語」を始める。続けて、瀬戸内寂聴訳、鴨下演出構成による「白石加代子の源氏物語」も手がけ、両シリーズとも身体性に富んだ「語り物」として、新しい境地を開いている。その他、映画、TVでも幅広く活躍。79年にギリシャ悲劇公演で第一回観世寿夫記念法政大能楽賞。96年、98年に読売演劇大賞優秀女優賞、2001年に芸術選奨文部科学大臣賞を受賞。2005年には春の「紫綬褒章」を受章している。「SCOT」以後は、「劇書房」「メジャーリーグ」を経て、現在は、「有限会社白石加代子事務所」に所属。



■百物語・演目

<p>第一夜 1992/6/7</p> <p>1話 ちようちゃんが割れた話 夢枕獯</p> <p>2話 二ねん三くみの夜のプランコの話 夢枕獯</p> <p>3話 如菩薩団 筒井康隆</p> <p>4話 筆筒 半村良</p> <p>第二夜 1992/7/5</p> <p>5話 夢十夜・第一夜 夏目漱石</p> <p>6話 灯台鬼 南條範夫</p> <p>7話 ママゴト 城島幸</p> <p>8話 青梅雨 小松左京</p> <p>第三夜 1992/8/2</p> <p>9話 くだんの母 小松左京</p> <p>10話 件 内田百閒</p> <p>11話 夏の葬列 山川方夫</p> <p>12話 おーいであて 星新一</p> <p>第四夜 1993/1/15</p> <p>13話 赤いろうそくと人魚 小川未明</p> <p>14話 高野聖 泉鏡花</p> <p>第五夜 1993/1/15</p> <p>15話 瓶詰地獄 夢野久作</p>	<p>16話 兵隊の死 渡辺温</p> <p>17話 阿部定事件予審調書 第六夜1993/3/27</p> <p>18話 桜の森の満開の下 坂口安吾</p> <p>19話 片腕 川端康成</p> <p>第七夜 1993/7/24</p> <p>20話 父の怪談 岡本綺堂</p> <p>21話 影を踏まれた女 岡本綺堂</p> <p>22話 蒲団 橋外男</p> <p>第八夜 1993/7/24</p> <p>23話 人間椅子 江戸川乱歩</p> <p>24話 押し絵と旅する男 江戸川乱歩</p> <p>第九夜 1994/7/9</p> <p>25話 首 山田風太郎</p> <p>26話 かかわろ 向田邦子</p> <p>27話 五郎八航空 筒井康隆</p> <p>第十夜 1994/10/15</p> <p>28話 忍術己来也 白井喬二</p> <p>29話 江島屋騒動：鏡ヶ池操松影 三遊亭円朝</p>	<p>第十一夜 1995/3/11</p> <p>30話 遠い記憶 高橋克彦</p> <p>31話 刺刀 志賀直哉</p> <p>32話 干魚と漏電 阿刀田高</p> <p>第十二夜 1995/10/28</p> <p>33話 二階 松本清張</p> <p>34話 その戸を通過して 山本周五郎</p> <p>第十三夜 1996/3/30</p> <p>35話 猫の踊 田中貴太郎</p> <p>36話 室の中を歩く石 田中貴太郎</p> <p>37話 平山婆 田中貴太郎</p> <p>38話 赤い牛 田中貴太郎</p> <p>39話 瘤の運動 田中貴太郎</p> <p>40話 天井からぶら下がる足 田中誠</p> <p>41話 おさる日記 西丸農哉</p> <p>42話 釜石の幽霊 内田百閒</p> <p>43話 火花 小泉八雲</p> <p>44話 破約 吉行淳之介</p> <p>45話 追跡者</p>	<p>第十四夜 1997/1/11</p> <p>46話 怪気の火の玉 新春落語大会</p> <p>47話 首提灯 新春落語大会</p> <p>48話 死神 新春落語大会</p> <p>第十五夜 1996/3/30</p> <p>49話 小袖の手 宮部みゆき</p> <p>50話 鬼火 吉屋信子</p> <p>51話 ミミ 小池真理子</p> <p>第十六夜 1998/1/24</p> <p>52話 夜が軋む 藤沢周平</p> <p>53話 うらぼんえ 浅田次郎</p> <p>第十七夜 2001/1/20</p> <p>54話 赤い鼻緒の下駄 柴田錬三郎</p> <p>55話 昆虫図 久生十蘭</p> <p>56話 ぼっばや 浅田次郎</p> <p>第十八夜 1996/3/30</p> <p>57話 真景累ヶ淵 三遊亭円朝</p> <p>58話 関節語法 筒井康隆</p> <p>第十九夜 2001/6/30</p> <p>59話 蛇精 岡本綺堂</p>	<p>60話 フリオ・イグレシアス 村上春樹</p> <p>61話 トランプ 村上春樹</p> <p>62話 もしよもしよ 村上春樹</p> <p>63話 池猫 筒井康隆</p> <p>64話 蜘蛛 遠藤周作</p> <p>65話 夏の少し前 江國香織</p> <p>66話 十三夜 山川方夫</p> <p>67話 天狗 大坪砂男</p> <p>第二十夜 2003/8/30</p> <p>68話 開いた窓 サキ</p> <p>69話 銀の仮面 Hウォールボール</p> <p>70話 踊るお人形 夢枕獯</p> <p>第二十一夜 2003/7/3</p> <p>71話 桃太郎 内田百閒</p> <p>72話 カチカチ山 太宰治</p> <p>73話 長い暗い冬 曾野綾子</p> <p>74話 月夜の電信柱 宮沢賢治</p> <p>第二十二夜 2004/7/17</p> <p>75話 雨月物語・青頭巾 上田秋成</p> <p>76話 雨月物語・吉備津の釜 上田秋成</p>	<p>77話 時代小説 上田秋成</p> <p>第二十三夜 2006/1/28</p> <p>78話 首 夢枕獯</p> <p>79話 菜の恋 三川湊人</p> <p>第二十四夜 2007/9/15</p> <p>80話 怪談牡丹燈籠 三遊亭円朝</p> <p>第二十五夜 2008/5/31、6/1</p> <p>81話 赤道奇談 阿刀田高</p> <p>82話 人面首 谷崎潤一郎</p> <p>83話 冥途 内田百閒</p> <p>84話 猫風船 松山巖</p> <p>85話 週に一度のお食事を 新井素子</p> <p>86話 金魚のお使い 与謝野晶子</p> <p>第二十六夜 2009/6/4~7/10</p> <p>87話 杜士春 芥川龍之介</p> <p>88話 耳なし芳一 小泉八雲</p> <p>89話 平家物語・壇ノ浦の段</p> <p>第二十七夜 2010/2/27~4/2</p> <p>90話 銀河鉄道の夜 宮沢賢治</p>
---	--	--	--	--	---

Cruising info mart

ミュージックへ、そして読者の皆さんへ。



2 所沢市生涯学習推進事業 番外・所沢寄席「柳瀬亭」

2010年6月5日(土) 柳瀬公民館
開場13時20分 開演14時
出演/三遊亭夢太郎、桂文月
鏡味正二郎
●古典落語の面白さを実感しました。(所沢市・会社員)
●三人三様で面白かったです。(所沢市・女性)



4 所沢市生涯学習推進事業 番外・所沢寄席「中央亭」

2010年6月13日(日) 中央公民館
開場13時20分 開演14時
出演/笑福亭鶴光、桂歌助
新山真理
●3人ともとても良かったです。(所沢市・女性)
●なぞかけが面白かった。(文京区・会社員)



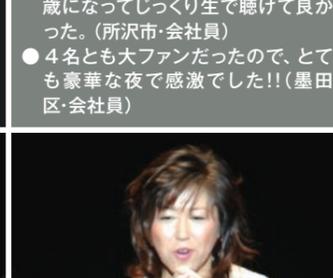
6 所沢市市制施行60周年記念事業 NHK交響楽団 準・メルクル:指揮 ジャン・フレデリック・ヌーブルジェ:ピアノ

2010年6月27日(日) アークホール
開場14時30分 開演15時
曲目/リスト:ピアノ協奏曲第2番
マーラー:交響曲第1番「巨人」
●繊細かつ流麗なピアノの響きがオーケストラとよくマッチして心に響いた。(狭山市・男性)
●指揮、ピアノはもちろんのこと、N響の演奏が素晴らしく良かった。(所沢市・男性)
●レベルの高い演奏でとても素晴しかったです。(所沢市・会社員)



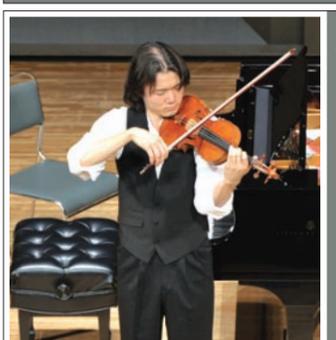
1 アラウンド40 メモリーコンサート

2010年6月4日(金) マーキーホール
開場18時30分 開演19時
出演/杉山清貴、中西保志
辛島美登里、沢田知可子
●4組ともとても上手な歌とおしゃべりで、楽しい時間でした!(所沢市・女性)
●青春時代に聴いていた曲を、この歳になってじっくり生で聴けて良かった。(所沢市・会社員)
●4名とも大ファンだったので、とても豪華な夜で感激でした!(墨田区・会社員)



3 クリスマン・ツイメルマン ピアノ・リサイタル2010

2010年6月12日(土) アークホール
開場16時30分 開演17時
曲目/「オール・ショパン・プログラム」
ピアノ・ソナタ第2番「葬送」
ピアノ・ソナタ第3番 ほか
●非常に感銘を受けた。極めて質の高いショパンだったと思います。(杉並区・会社員)
●透明に響く高音、重厚に迫る低音、巨匠のショパンに酔いました。(狭山市・男性)
●さすがツイメルマン!技術もさることながら、心に響く音に感動しました。(練馬区・女性)



5 MUSEカフェ・コンセーラ ～室内楽・リサイタル・シリーズ～ 佐藤俊介(Vn)&河村尚子(Pf) デュオリサイタル

2010年6月19日(土) マーキーホール
開場14時30分 開演15時
曲目/イザイ:無伴奏ヴァイオリン・ソナタ第6番
シューマン:ヴァイオリン・ソナタ第1番
フランク:ヴァイオリン・ソナタ ほか
●若いデュオがとてもフレッシュで、清々しかったです。(北区・会社員)
●表情豊かな美しい音で、音楽を楽しむことができて幸せでした。(東久留米市・女性)
●お二人の音色が重なり合うところがとても素敵でした。(東村山市・主婦)



オーケストラの定年退職制度 (そのI)

金山茂人

Shigeto Kanayama

ミュージックアドバイザー/財団法人東京交響楽団 最高顧問

人間、誰だって会社に勤めれば、いづれ年を取り、やがては本人の意思に関わらず出世、オチこぼれの差は多少あるにせよ原則定年を迎えると考えるのが一般的であろう。オーケストラも例外ではない。私が東京交響楽団に在籍して今年で48年目を迎えるがそのうち楽団長を30年やっていた。就任当初いろいろ試行錯誤をしているうちに気がついたのは楽団を守るためには音楽的レベルの維持、発展が必要であり、そのためにはどうしても定年退職制度を設けて楽団を活性化させることが必至である。しかしながら当時の楽団は給料を支払うことだけでキュウキュウとしている状況でありとても退職金を支払うなんてとんでもない状況にあった。このままではスポンサー付オーケストラとの差が開ばかりという現実、やむなく無念の涙を呑んでいた。実現を目指すためには確固たる財源がなくては気合だけではどうにもならず、分かっているながら手も足も出なかった。

楽団のように貧乏を売り物にして当のようなオーケストラにとって定年制なんて夢のまた夢物語であったのだ。だが長い間の執念が実ったのか奇跡が起こった。紆余曲折の末、1986年頃になってようやく大スポンサーを獲得することに成功した。その結果定年退職制度確立のみに留まらずベースアップ、ボーナス支給、楽器の買い替え、正直なものでこれに伴って優秀な楽団員も押し寄せることにより音楽面も含めて楽団が大きく発展に向けて前進し世間は瞠目した。その後それらの成果で日本におけるクラシック関係の音楽賞の大部分を受賞し制覇し

た。とはいっても定年退職制度がスタートしたことは事実だが額を見ると、とても威張れたものではなくて一流企業やお役所なんかとは、ほど遠いものであった。しかし低いなりに精一杯踏ん張り60歳定年まで30年以上勤務で何とかゼロが3つ付くまでこぎつけた。一部上場企業には程遠いが安いとはいえ他の自主オーケストラは当時は定年制を考えているところは少なく順位をつけるとすれば遜色のないというよりも、かなり上位にランクされると周囲からおだてられた。この制度の特色は私も含めて楽団の権利、義務は平等という観点からこの額は肩書きに関係なく全員同額とし、差が付くのは在籍年数だけとした。当楽団にとって昭和21年設立以来歴史上初めてのことであった。いくなれば楽団の運営基盤確立の第一歩ともいえた。一方我々役員定年は決めていなかった。考えてみると役員だからといって、それまで多少功績があったとしてもいつまでも居座り続けるということになれば、いづれ放り出されることは必至であろう、と思いつき、とりあえず役員定年を65歳に決めた。言いだしっぺの私とその第一号となった。その私も楽団長定年後、現在楽団の「最高顧問」という偉そうな肩書きがついているが、本当は全然偉くはない。楽団長として定年退職し退任したのだが引き続き楽団に残れという楽団からの要請があり、それを本気にしてしばし残ることにした。その代わりカッコよく給料は返上した。したがって後任者を称える意味からも、あまり出しゃばるわけにもいかず今日東京交響楽団の仕事という週一度くらい事務所に顔を出すことと、年40回前

後の定期演奏会を含む自主公演に各々の会場の受付に出没して挨拶の傍ら、古い定期会員等お世話になっているスポンサー筋や仕事の関係者と旧交を温めている。その間、後輩たちに演奏の感想や事務的なことで気がついたことなど、自分の意見をいうのだが、一応神妙そうに聞いている。

楽団長時代は全ての面でクラシック音楽界では珍しい特異な(?)コワモテでかなり怖がられ、嫌われながらも強硬に指示していたが、今は立場が違うので私の以前を知っている人が知るとびっくりするような弱腰だ。それでも持って生まれたコワモテは変わりようもないが、現在は借りてきた猫のように大人しい(?)むしろいい意味での大久保彦左衛門の立場になれたらと願っている。自分なりに少しは楽団のために役立っていると思っていたのだが、先日息子とある酒場で久しぶりに呑んでいて「オレは東響からの給料辞退したのだぞ!」と多少威張ってみせると、「それは自慢することではなくて楽団が本当に親父を必要とするならば本人が辞退しても、まあそうおっしゃらないで、少ないですがこれくらいでカンベンしてください、といって3本指が無理ならばせめて1本指くらいこっそり差し出して交渉するのが普通だと思うが、それが今もってないということは、親父が思っているほど楽団からは必要とされていないんじゃないの?そろそろ年貢の納め時では?」と息子でしかいえないキツイコトをいいやがった。残念ながら息子を恨むこともならず、内心いわれるまでもなく納得しているのだが……。

(そのIIへ続く)

15 親子で楽しむクラシックコンサート 音楽の絵本

2010年8月1日(日)マーキーホール
(1回目)開場10時30分 開演11時
(2回目)開場14時30分 開演15時
出演/ズーラシアンプラス、弦(つる)うさぎ
曲目/天空の城ラピュタ・メドレー、森のくまさん
フニクリ・フニクラ、カルメン ほか

- 知っている曲が多く楽しかった。生演奏を聴けて良かった。(川越市・小学生)
- 弦うさぎたちの演奏がすごく穏やかに響いて良かったです。(所沢市・小学生)
- レベルの高い本物の音をわが子にも聴かせてあげることができ嬉しかったです。(入間市・女性)



16 スアール・アグン

2010年8月6日(金)アークホール
開場18時30分 開演19時

- 竹製打楽器の重低音、低音、中音、高音の見事なアンサンブルに圧倒されました。(川越市・男性)
- 地下から湧き上がるような音は迫力満点!(東村山市・男性)
- 会場と一体感があってとても良かったです。または是非このホールで聴きたいです。(所沢市・主婦)



18 夏休み!ミュージック“とことこ”探検ツアー

2010年8月24日(火)アークホール
①9時30分~②12時15分~③15時~
出演/オルガン:松居直美、川越聡子

- パイプオルガンがとても大きくてびっくりしました。(所沢市・小学生)
- パイプオルガンをさわったり、スポットライトをさわったりできて楽しかった。(所沢市・小学生)
- 普段見られない所を見られて、オルガンも弾けてとても充実した内容でした。(所沢市・主婦)



17 伝統芸能普及事業 能楽講座 「触れてみよう! 能楽の世界」

2010年8月22日(日)キューホール
開場12時30分 開演13時
出演/遠藤喜久 ほか
能楽囃子方

- 詳しい解説があり、物語・装束について非常に良くわかり能に近付きました。(所沢市・女性)
- 短時間の中で、長い歴史が実際に脈々と受け継がれていることがわかり、とても嬉しく勉強になりました。(所沢市・女性)
- 発表された方々の真剣な姿が印象的でした。着付も見られてとても興味深かったです。(ふじみ野市・会社員)

19 アメリカの恐竜展

2010年8月27日(金)~9月5日(日)ザ・スクエア
10時~18時
化石、化石標本、全身骨格標本、生体模型展示

- 色々な恐竜の化石などが展示してあって良かったです。(西東京市・小学生)
- 子供が最初は怖がっていたのですが、最後にはとても楽しかったようで3周もしていました。(所沢市・主婦)
- 孫と一緒に来たのですが、会場に入ったとたんすごい迫りに圧倒されました。(所沢市・主婦)



20 第6回ところざわ 夢あかり音楽会

2010年9月4日(土)情報市場
開場18時 開演18時30分
出演/横山裕子(琴・うた)
JAY'S GARDEN, Assy
吉武大地(バリトン)

所沢ゆかりの4組のアーティストが出演しました。会場に灯されたキャンドルのもと、心に夢とあかりを感じさせるコンサートとなりました。



21 所沢市生涯学習推進事業 「ちょっと気軽にジャズライブ」 古野光昭スペシャル・ユニット

2010年9月18日(土)小手指公民館分館
開場13時20分 開演14時
出演/古野光昭(ベース)
太田剣(サクソ)
石井彰(ピアノ)

- 実力のあるアーティストをこんなに近くに感じられて、とても贅沢な時を過ごさせていただきました。(所沢市・主婦)
- 3人の息がぴったり合っていて素晴しかったです。(所沢市・会社員)

14 東京交響楽団 ユベール・スターン:指揮

2010年7月31日(土)アークホール
開場14時30分 開演15時
曲目/
シューベルト:「ロザムンデ」序曲
:交響曲第7番「未完成」
ブラームス:交響曲第1番

- ユベール・スターンさんの全身を使っている指揮、感情のこもった表情がとても良かった。(所沢市・女性)
- 演奏が素晴らしく、感動しました。胸がいっぱいです!(所沢市・主婦)
- 指揮者とオーケストラに引き込まれ、音楽の中を旅しているようでした。(吉川市・女性)



8 ナンシー

2010年7月2日(金)マーキーホール
開場18時30分 開演19時
作/金子茂樹 演出/山田和也
出演/西村雅彦、飯島直子
長谷川朝晴
本多力(ヨーロッパ企画)
岩佐真悠子
安田顕(Team NACS)
デビット伊東

- とても楽しい公演でした。役者さんそれぞれ個性があり良かったです。(所沢市・主婦)
- 普段テレビで拝見している方々を身近に感じることができ、また内容もとても深く、楽しんで観させていただきました。(川越市・女性)
- 笑い転げて観ていましたが、ラストは感動的で涙ぐんでしまいました。(所沢市・女性)



7 “お昼どき”パイプオルガン 500円コンサート ~たなばた キラキラ☆コンサート~

2010年7月2日(金)アークホール
①開場10時30分 開演11時
②開場14時 開演14時30分
出演/オルガン:永瀬真紀
曲目/①チム・チム・チェリー
(映画「メリーポピンズ」より) ほか
②ギィ・ボヴェ:
日本三景より「赤とんぼ」「東京音頭」ほか

- パイプオルガンコンサートは初めてでしたが、こんなにも良いものだったとは知らなかった。(所沢市・男性)
- パイプオルガンの音に、とても癒されました。是非また聴きたいです。(狭山市・主婦)
- 音色が綺麗で、幅の広さ、奥行きに感動しました。(所沢市・女性)



9 所沢市生涯学習推進事業 笑太夢マジックの バントマイム&マジックショー

2010年7月3日(土)並木公民館
開場13時20分 開演14時
出演/笑太夢マジック

- 素敵なバントマイムと本格的なマジックで、ものすごく良かったです。(所沢市・主婦)
- 期待以上でした!盛りだくさんでとても楽しかったです。(所沢市・主婦)

12 所沢市市制施行60周年記念事業 劇団四季ミュージカル 嵐の中の子どもたち

2010年7月21日(水)マーキーホール
開場18時 開演18時30分

- おどりが上手で素敵良かったです。一緒に歌って楽しかったです。(和光市・小学生)
- 一人ひとりとても声が出ていてすごかったです。おどりが全力でおどってすごかったです。(所沢市・中学生)
- 友情の大切さが子供にもわかりやすく素晴らしいミュージカルだと思いました。(所沢市・公務員)



10 琉球島唄巡りコンサートⅡ

2010年7月10日(土)マーキーホール
開場15時30分 開演16時
出演/川満聡(司会) (沖縄本島) 松田一利、伊波はづき
上間綾乃 (南大東島) 内里美香 (宮古島) 下地勇
(八重山) 池田卓(西表島) 鳩間可奈子(鳩間島)

- 色々な島の唄が聴けて楽しかった。定番のカチャーシーも良かったです。(さいたま市・女性)
- 東の間の非日常を楽しむことができた。(川越市・主婦)
- 唄、演奏共に素晴らしく聴き入りました。沖縄独特のリズムに引き込まれました。(所沢市・女性)

11 ハンス・ファギウス オルガン・リサイタル

2010年7月17日(土)アークホール
開場14時30分 開演15時
曲目/ロイブケ:
オルガン・ソナタ「詩篇94」
バッハ:
トリオ・ソナタBWV529
シューマン:
4つのスケッチop.58 ほか

- 曲目がバッハから現代曲まで幅広く楽しいコンサートでした。(調布市・女性)
- とても力強い演奏でした。ロイブケが特に良かったです。(港区・女性)
- オルガンの音が澄んでいてとても良かったです。(大田区・自営業)



13 第67回所沢寄席 よったり寄ったり競演会

2010年7月23日(金)マーキーホール
開場18時30分 開演19時
出演/三遊亭小遊三、柳家さん喬、桂米助、林家正楽 ほか

- 素晴らしい盛り上がりの会で十二分に堪能できました。(狭山市・男性)
- よったり個性があって良かったです。暑さを笑い飛ばしました。(所沢市・会社員)
- 期待通りのお話を堪能し、本当に楽しめました。(所沢市・男性)



バッハのオルガン曲の中でも傑作の誉れ高い、有名な曲である。実際、力のある名曲だ。その魅力を語るにあたり、「パッサカリア」とは何か、というところから話を始めなければならないだろう。パッサカリアとは、特定の主題が主にバス声部に繰り返される変奏曲を言い、バロック時代に大変好まれた。起源はスペインにある。「バス」は通りすぎること、「カイユ」は道とか通りという意味があったという。つまり、ギターを持ったストリート・ミュージシャンによる「軒付け」とでもいおうか、同じコードをかき鳴らしながら、変奏してゆく。一つ変奏が終わると次の家の前でまた新しい変奏を演奏しながら、えんえんと、彼がもう終わらせて良いと思うまで、心ゆくまで変奏を続けてゆく、そういう演奏習慣のことを称したらしい。コード進行にはいくつもパターンがあり、そのパターンによって歌詞が決まっていたという説もある。古い話である。夕日を浴びたちょっとくたびれた辻音楽師が、ギターの哀愁をおびた音色をかき鳴らしつつ、同じコードの繰り返しを用いながら、ファンタジーの赴くままに変奏を即興しつつ、詩を節に乗せて語りながら歩いてゆく様が思い浮かぶ。

やがて、パッサカリアはイタリアで発達し、整えられて、即興ではなく記譜された名曲が多く創られるようになった。鍵盤楽器用に最初にパッサカリアを書いたのはフレスコバルディと言われている。決まった和声進行を原則的には続けつつ、しかし、転調したり、リズムが変わったり、とスペインの素朴なリフレインからは大分発達し、洗練された規模の大きな曲が残る。これらはチェンバロで奏されることが普通である。ぜひ、聴いてみていただきたい。個人的には、「パッサカリアによる100のパーティータ Cento partite sopra passacagli」が最も傑作であると思う。

フランスでもパッサカリアは好まれた。宮廷文化の主権者、ルイ14世は、自らバレエの名手だった。王の権威と栄光を演

出するための華美にして演劇的、壮麗荘重な儀式的な様式を好んだ王は、太陽王に扮して自ら踊ったという。宮廷でダンスは重要な役割を演じ、ダンサーも、また貴族たちも踊った。様々な踊りが踊られたが、パッサカリアはロンドと結び付き、一定の間隔を置いて現れる定型リフレインと、その間の変奏、という形を取っていった。間の変奏部分は、ひと組、ふた組と、決められた順でカップルが踊る。そしてリフレインがやってくると、全組が一斉に踊る。ろうそくのきらめく大広間で、豪華な衣装と宝石で身を飾った人たちがゆったりとしたリズムに乗って優雅に踊る様子を想像していただきたい。なんと贅沢で、なんと洗練された美がそこにあったらだろうか!今も残る「舞踏譜」(踊りのステップの順番を記したものは、その残り香を伝えてくれる。

ドイツのパッサカリアは、遅れて発達し、北上する。まずイタリアに近く、ウィーンの宮廷と同じ文化圏であった南ドイツに広まった。イタリアで学んだ音楽家や、その影響を受けた人たちがイタリア的な、軽快で快活なパッサカリアを創っている。この様式はパッヘルベルによって中部ドイツにもたらされる。パッヘルベルは変奏技法の名手と言われ、エアフルト、ニュルンベルクなどを拠点に活躍した、多作の音楽家であった。同じく中部ドイツで何代にもわたって活躍していたバッハ一族との交流も、容易に想像される。このパッヘルベルの作品がリュベックのブクステフーデに渡ったことにより、パッサカリアという様式は、北ドイツに伝わる。しかし、いわゆる「北ドイツ楽派」と言われる人たちの間では、この、一定の長さの同じコード進行に基づく変奏様式はあまり取り入れられなかった。彼らの変奏は、もっぱらコーラル定旋律を用いた変奏曲だったのである。そのなかで、ブクステフーデの書いた二短調のパッサカリアは大変特徴的である。全部で28の変奏が、4つのセクションに均等に、すなわち7つずつ

配置される。この4つのセクションは、二短調から、へ長調、イ短調を経て再び二短調へと明確に転調する。当時、天文学への関心が高く、リュベックのブクステフーデの教会、聖マリア教会内にも巨大な天文時計が置かれていた(今もある)。宇宙の秩序は、創造主である神の秩序であり、その秩序を音で現したのが音楽である。すなわち、音の持つ倍音の数と音程の比率は、神の秩序の序列に従うもので、天体の秩序と合致する、という考え方が提唱された時代であった。そのことから、オランダのオルガニスト、ピート・ケーは、この曲を月の満ち欠けを表現したものとして解釈している。すなわち、4つのセッションは新月、上弦、満月、下弦を現す。

そして、バッハのパッサカリアである。この曲は、バロック時代の大方のパッサカリアの倍の長さ(8小節)のバス主題を持ち、前半4小節はフランスの作曲家、レゾンのクリステの旋律、後半4小節は自作のコーラル「イエスは我が喜び」のバス旋律から取られたと言われる。21回の変奏(1回目がユニゾンであることも特徴的)を持つ。先人の変奏技法を十分に消化した多様性に富んだ変奏が、厳格な対位法的手法から、1声のアルペジオまで、自在に続く。その自在さ、完成度の低さ、バッハの若さとする向きもあるようだが、私は、その自在さがこの曲の力となっていると思う。21回の変奏に大きなフーガが続くことも特徴的である。フーガのテーマは12回で、パッサカリアと合わせて、全部で33回テーマが現れる。この33という数字は、イエス・キリストの年齢と合致する大変意味深い数字である。バッハのパッサカリアの隠された意味については多くの識者が研究をしている。隠された数、当時の宗教的概念、世界観などからいろいろな解釈が可能である。むしろ、答えはないのだが、いずれにせよ、この作品が大きな力と情熱と雄弁を備えた傑作であることの証しであろう。

あいうえ おるがん ⑤③

オルガン名曲ガイド③「J.S.バッハ:パッサカリア」

松居直美

Naomi Matsui

オルガニスト/ミュージックアドバイザー

23 森麻季 ソプラノ・リサイタル

2010年10月3日(日)アークホール
開場14時30分 開演15時
ピアノ/山岸茂人
曲目/シューマン:献呈、はすの花
ブッチーニ:私が街を歩けば ほか
●美しい透明感のある声に感動しました。(所沢市・女性)
●お姿にうっとり、歌声にまたうっとりです。曲の解釈があったので楽しみがぐっと増えました。(小平市・主婦)
●森さんの声が素晴らしく聴き惚れました。山岸さんのピアノソロもとても素晴しかったです。(所沢市・主婦)



24 平日の午後に贈る大人のための500円コンサート 佐藤卓史(ピアノ)

2010年10月7日(木)マーキーホール
曲目/ベートーヴェン:エリーゼのために
シューマン:トロイメライ
モーツァルト:トルコ行進曲
リスト:愛の夢
ハダジェフスカ:乙女の祈り
サティ:ジムノペディ第1番 ほか
●料金も手ごろで親しみのある曲も多かったのもとても楽しめました。(所沢市・女性)
●気楽に本格的なピアノ演奏が聴けてとても良かったです。素敵なコンサートでした。(東村山市・女性)
●素晴らしい秋の1日となりました。選曲もよかったです、トークも楽しかったです。(さいたま市・男性)



27 所沢市生涯学習推進事業 番外・所沢寄席「新所沢東亭」

2010年10月23日(土)
新所沢東公民館
開場13時20分 開演14時
出演/古今亭寿輔、新山真理
春風亭柳之助
●出演者3名とも個性があって面白かった。(所沢市・男性)
●3氏とも面白かった。ぜひまたお願いします。(所沢市・男性)



29 MUSEカフェ=コンセルト ~室内楽・リサイタル・シリーズ~ スタンリー・ホッホランド フォルテピアノ

2010年10月31日(日)キューブホール
開場14時30分 開演15時
曲目/(オール・ベートーヴェン・プログラム)
ピアノ・ソナタ第14番「月光」
ピアノ・ソナタ第15番「田園」
ピアノ・ソナタ第17番「テンペスト」
ピアノ・ソナタ第22番
●初めて耳にした音でしたが、とても優しく新鮮でした。(所沢市・主婦)
●やわらかな温かみのある音色でベートーヴェンの時代にワープしたかのような錯覚に陥り、心地良いひと時を過ごせました。(所沢市・主婦)
●ホッホランドの伸びやかな演奏は素晴しかったです。(飯能市・男性)



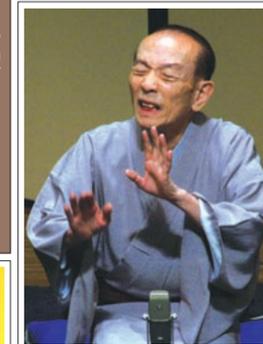
22 所沢市市制施行60周年記念事業 山下洋輔 SPECIAL BIG BAND CONCERT 2010

2010年9月25日(土)アークホール 開場16時30分 開演17時
出演/山下洋輔(P)、金子健(b)、高橋信之介(dr)、(tp)エリック宮城、佐々木史郎、木幡光邦、高瀬龍一、(tb)松本治、中川英二郎、片岡雄三、山城純子(sax)池田篤、米田裕也、川崎哲郎、竹野昌邦、小池修
●スタンダード、オリジナルのバランスが良く、全体を通じて楽しく聴けました。斬新なアレンジもありびっくりしました。(所沢市・男性)
●エネルギッシュな演奏で久しぶりに気力をもらった気がする。眠っていたハートが揺り動かされたようだ。(入間市・女性)
●本格的なジャズライブに接することができ、楽しかったです。(狭山市・女性)



25 所沢市市制施行60周年記念事業 第68回所沢寄席 桂歌丸独演会

2010年10月8日(金)マーキーホール
開場18時30分 開演19時
出演/桂歌丸、林家今丸 ほか
●生の歌丸さんの落語を聞くことができ幸せです。思いきり笑い、楽しかったです。(所沢市・女性)
●歌丸師匠の斬をじっくり堪能できました。名人芸に對し何も言うことなし、十二分に楽しめました。(狭山市・男性)
●上質な笑いでした。心地良かったです。(所沢市・教員)



26 ディズニー・オン・クラシック まほうの夜の音楽会2010

2010年10月23日(土)アークホール
開場15時30分 開演16時30分
出演/
指揮:ブラッド・クレイ
ボーカル:キャリー・アンダーソン(ベル役)
東京フィルハーモニー交響楽団
“ネバーランド・オーケストラ” ほか
曲目/
「美女と野獣」より「美女と野獣」 ほか
●とても良い演奏でした!!素敵な夜をありがとうございました。(所沢市・学生)
●愛と夢に満ち溢れた素敵な音楽に、日常のストレスがたまった心が洗われた気分です。(江東区・会社員)
●感動しました!涙で前がかすんで何度も深呼吸しました。(所沢市・主婦)



28 MUSE ハッピー オンステージ in 所沢市民フェスティバル

2010年
10月30日(土)・31日(日)
情報市場・野外特設ステージ
30日(土)「お江戸でハッピー」
31日(日)「チャイナでハッピー」
●普段なかなか見る機会がないので感動しました。(70代・主婦)
●とても感動しました。楽しかったです。(30代・主婦)
●中国雑技を楽しみにして来ました。とても面白かったです。(50代・会社員)



10月7日に
ご出演いただいた
ピアニスト
佐藤卓史さんより
メッセージを
いただきました。



またミュージズで演奏できる
日を楽しみにしています！

皆さんに耳なじみのある小品をここまで多く集めたプログラムは初めてでした。難しい面もありましたが、多くのお客様にお楽しみいただけたようで、大変うれしく思っています。これからも国内外での演奏を継続しながら、大好きな作曲家・シューベルトの作品を掘り下げて勉強したいです。そしてまだあまり知られていない作曲家の作品にも大変興味深いものがありますので、それらの作品も演奏していきたいです。常に向上心を忘れず、年を重ねてより円熟味の増すような、息の長い演奏家になりたいと思っています。

平日に贈る大人のための Vol.2 500円コンサート開催！

10月7日にスタートした「平日に贈る大人のための500円コンサート」。ウィークデーのひとつに、ゆっくりと音楽を楽しんでいただく新企画です。今回は、所沢が誇る若手実力派ハーピスト 景山梨乃さんが登場。公演に先駆けてメッセージをいただきました。

育った街、所沢で演奏させていただけることが
本当に嬉しく、楽しみです！

●ハーブの魅力

ハーブの最大の魅力は、美しい音色やグリッサンド(音を滑らせる奏法)だと思います。そのほかにも、あまり知られていない特殊な奏法や不思議な音色がたくさんあるので、幅広い可能性がある楽器ですね。一般的なハーブのイメージと違う音が出たとき、皆さんに驚きと喜びを感じていただけたらと思います。

●今回のコンサートの聴きどころ

妖精、小鬼、蜘蛛など題材がはっきりしていて、テーマをイメージしながら聴いていただける曲が中心です。皆さんが自分なりのイメージを広げることで、クラシックに少し抵抗がある方にも楽しんでいただけるのではないのでしょうか。そして全て私自身が好きな曲。私も楽しんで演奏したいです。是非、バロックの高貴さに触れ、妖精や小鬼との踊りを楽しみ、フランスの風を感じ、蜘蛛の不気味さに鳥肌を立たせ、最後はヴェニスへの旅に出かけにいらしてください。



平日に贈る大人のための 500円コンサート

2011年1月13日(木)
キューブホール
1回目◆開場10時 開演10時30分
2回目◆開場12時30分 開演13時
料金 / 500円(定員:各回先着320名。
当日ホール入口で支払い)

出演 / 景山梨乃(ハーブ)
曲目 / ヘンデル:ハーブコンチェルト
ドビュッシー:2つのアラベスク
ポッセ:ヴェニスの謝肉祭 ほか

※2回公演ですが、内容は各回共通です。
※未就学児の入場はご遠慮ください。

伝統芸能から学ぶ日本の心、夏の特別企画！ 『やさしい能楽 1から始める お仕舞体験講座PART6』開催しました！

ミュージズでは、日本の伝統芸能を広く知っていただくため、「お仕舞体験講座」を開催しています。今年で6回目となるこの講座は、講師に観世流能楽師・遠藤喜久師をお迎えし、7月1日(木)から全6回の(一般の部(昼の部・夜の部))と、8月16日(月)からは全3回の(小中学生の部)を開催しました。ほとんどの参加者が初心者でしたが、熱心に稽古を受け、めきめきと上達。また中学生は「土蜘蛛」の仕舞に挑戦し、3回という限られた時間の中でセリフと舞いを覚えしました。短い講座でしたが、生徒の皆さんにとって大変充実した体験講座となったようです。



2010年8月22日(日)には「触れてみよう！能楽の世界」の第1部に出演し、それぞれの稽古の成果を発表。



第2部では講師の遠藤喜久さんによる能のお話や装束の着付け、能「海士(あま)」を披露していただきました。

また来年度も
「お仕舞体験講座」を
行う予定です。
能やお仕舞に興味のある方、
是非ご参加ください！

The Museum of info mart

インフォ・マート美術館 ④0 表紙を飾ったアーティスト・柳井 嗣雄

忘れてはならぬ歴史の記憶

20世紀とは一体どんな世紀だったのだろうか。そんな思いで制作したのが作品「遺物」である。2000年に新橋のギャラリースペース21と所沢のミュージズで発表した。20世紀に亡くなった歴史上の人物20人の頭像で構成した。長い人類の歴史からみれば我々と同時代のカリスマ的人物ばかりであるにもかかわらず、すでに我々の記憶は形骸化してしまっ。縄文時代の地層から出土した遺物のように、未来の人類が20世紀の地層から発掘した遠い歴史の記憶として、頭像は皆、無表情のまま風化した姿でそこにいる。

どんなに鮮烈な体験も深遠な思いも、時とともに色あせてくる。特に現代のような超高速の情報氾濫時代にはなおさらだ。我々は自身の来し方を忘れてはなるまい、と自らへの戒めを込めて世紀末に3年がかりで「遺物」を制作した。

表紙■「境界#1150」 楕、杉皮、95×146cm 2008年

TSUGUO YANAI

1953年山口県萩市生まれ。77年創形美術学校版画科卒業。1978-80年パリに渡りスタンリー・W・ヘイターに師事。80年より銅版画家としてスタート。85年より紙の作品制作、ペーパーワーク(ファイバーワーク)を開始。物の在り様を、風化して消えていく物質的存在と、記憶やイメージとして現れる精神的存在とし、「物質と生命の記憶」をテーマにしたインスタレーション作品を特長とする。独自の紙漉きの方法によるドローイング、オブジェ、ワークショップといった幅広い活動を展開している。



「遺物」 麻、楕、バルブ、染料、針金、各50×50×70cm(20体) 1997~2000年



「表皮-境界シリーズ#1287」 杉皮紙、520×100×180cm 2008年

ダン・エッティンガー指揮 東京フィル ベートーヴェン「第九」が ミュージズに初登場！

楽団創立100周年という記念のシーズンに、1971年生まれの若きマエストロ、ダン・エッティンガーが東京フィルの第8代常任指揮者に就任しました。2010年12月19日に開催される「第九」に早くもエッティンガーが登場します。公演に先駆けて、マエストロからメッセージをいただきました。

●「第九」はマエストロにとってどのような作品ですか？

日本で「第九」は、年末に演奏される習慣がありますが、ヨーロッパでも新年や記念日に演奏される特別な作品です。4人の質の高い歌手と合唱団を必要とする点も特別ですが、なにより音楽的な内容の素晴らしさが特別なのです。スケールの大きな構成力、素晴らしい響きの効果、終楽章には喜びの爆発があります。また、ある種カタルシス、宗教的な力を持っています。「第九」は古典的な枠組みを留めつつも、新しいロマン派の表現を先取りした偉大な作品で、その時代を象徴するモニュメンタルな作品です。東京フィルとは、これまでに交響曲第3番「英雄」、第5番「運命」、そして第7番とベートーヴェンを演奏してきましたが、今回の「第九」からいよいよ東京フィルと私のベートーヴェンのサウンド、そしてスタイルを確立していくことになると思います。

●指揮のポイントとは？

上演に5時間近くを要するワーグナーの『神々の黄昏』であれ、ベートーヴェンの「第九」であれ、その長さに応じたエネルギーの配分、全体的なアップダウンのバランスが大切だと考えています。最終的なゴールはどこにあるのか、各楽章のピークはどうあるべきか、それらを楽譜から読み取ることが重要なのです。私はバリトン歌手としてのキャリアがあり、またピアニストとして東京フィルのメンバーと室内楽を演奏したりもします。そういった経験から言えることは、指揮する際も何よりも「歌うこと」を大切にしたいと思っています。歴史的にも楽器が成立するずっと以前からどの世界にも「歌」は存在していました。「第九」の終楽章は文字通り「歌」の楽章ですが、第1楽章～第3楽章のなかにも終楽章へむかう「歌」の要素が潜んでおりそれが重要です。

●東京フィルの素晴らしさを教えてください。

2004年から東京フィルを数多く指揮してきましたが、オペラ、そしてコンサートと2つの分野で音楽づくりができることが強みだと思っています。東京フィルは、シンフォニーを演奏する時と同じ「真剣さ」「集中力」「質の高さ」をオペラのオーケストラ・ピットの中で発揮してくれます。同様に、オペラで求められる「多様性」「自由」「豊かな表情」が、シンフォニーの演奏でも活かされています。これこそ理想的なことなのです。

●ファンにメッセージをお願いします。

12月の「第九」は音楽を愛する皆さんを幸せにする演奏を届けられると確信しています。所沢ミュージズという私にとって新しい場所で演奏できるということは、とても光栄なことです。ぜひ、聴きにいらしてください。

※インタビューは2010年8月20日にヒルトン東京で行ったものを編集したものです。



ダン・エッティンガー

1971年生まれ。イスラエルで合唱指揮者として頭角を現し、その後バレンボイムに認められベルリン国立歌劇場でその片腕として活躍。メトロポリタン、ロイヤル・オペラ、ウィーン国立歌劇場に登場するなど急速に評価を高めている。イスラエル交響楽団、マンハイム国民劇場の音楽監督を務める。2004年に東京フィルを指揮し、以来オペラとコンサートの両方で目覚ましい成果をあげている。とりわけ「ニーベルングの指環」全4作の成功で評価を決定的なものとした。

チケット
好評発売中！

2010年12月19日(日)
開場14時30分 開演15時 アークホール
ダン・エッティンガー指揮
東京フィル ベートーヴェン「第九」
森麻季[ソプラノ] 谷口睦美[アルト]
シー・イージェ[テノール] 堀内康雄[バス]
東京オペラシンガーズ[合唱]
※公演に関する詳細は、
インフォ・マート通信(P12)をご覧ください。 森麻季

チケットのお求めは ミュージズチケットカウンター 04-2998-7777

◆電話予約 / 10時～18時 ◆窓口販売 / 10時～19時(休館日を除く)

◎発売初日は、お一人様6枚までとさせていただきます。
◎ご予約いただいたチケットは、ミュージズチケットカウンターのほか、チケットぴあ、セブンイレブン、サークルK・サンクスにてお引き換えいただけます。

チケットぴあ 0570-02-9999 ローソンチケット 0570-000-407

(10:00～20:00オペレーター対応)

託マークのある公演を対象に
託児サービスを実施します。

◆託児サービスの申し込み(有料・要予約)

【申し込み先】 イベント託児・マザーズ
(月～金曜日 / 10時～17時)
☎0120-788-222

【託児料金】 0歳児 / 2,000円
1歳児以上 / 1,500円

ミューズオルガンスクール生徒募集!!

所沢市民文化センターミューズでは、平成23年度もオルガンスクールを開講いたします。「オルガンを弾いてみたい!」「オルガンのことを知りたい!」という、鍵盤楽器の演奏経験のある方は是非ご応募ください。1年間のレッスンを通じて、より広くオルガン音楽の魅力を感じてください。



【期 間】 平成23年5月～平成24年3月(8月は休講)

【申込方法】「ミューズオルガンスクール初級クラスor上級クラス参加申込書」に必要事項を記入し、所沢市民文化センター管理棟3階事務室宛に、郵送、FAXまたは持参してください。(休館日は受付していませんのでご注意ください。)

★申込書は、所沢市民文化センターミューズで配布しています。FAXでもお送りいたします。また、ホームページからも取得できます。

<http://www.muse-tokorozawa.or.jp>

所沢ミューズ

検索

★詳細は募集要項をご覧ください。

【申込期限】

平成23年1月31日(月) 必着

初級クラス

【対 象】中学生以上で、ピアノ、電子オルガンなど鍵盤楽器の演奏経験のある方。

【個人レッスン】月2回/1回40分(10時～22時の間)
*水曜日(変更になる場合があります。)

【定 員】10名

【講 師】ジャン＝フィリップ・メルカールト
(平成23年度ミューズホールオルガニスト/パリ国立高等音楽院卒業)

【受講料】年間95,000円

【選考方法】

〈書類審査〉応募者多数の場合は、プロフィール審査を行います。

〈実技審査〉ピアノによる実技審査を平成23年3月6日(日)に行います。

★課題曲: J.S.バハ「2声のインヴェンション」全15曲より
任意の1曲

上級クラス

【対 象】ミューズオルガンスクールの修了生

【個人レッスン】月1回/1回45分(10時～22時の間)
*水曜日(変更になる場合があります。)
*基本は1年間。最長で2年間まで受講できます。

【定 員】5名

【講 師】松居直美(オルガニスト/ミューズ・アドバイザー)

【受講料】年間63,000円

【選考方法】

〈書類審査〉応募者多数の場合は、プロフィール審査を行います。

〈実技審査〉アークホールにてオルガンによる実技審査を平成23年3月6日(日)に行います。

【申込書宛先・問合せ先】

所沢市民文化センター ミューズ オルガンスクール係

〒359-0042 所沢市並木1-9-1 Tel.04-2998-6500 Fax.04-2998-6566

ミューズ シネマ・セレクション 開催決定!

世界が注目する日本映画たちPart XI

2011年3月18日(金)・19日(土)・20日(日)

2011年
1月23日(日)より
チケット
発売開始

今年もミューズ シネマ・セレクションがミューズにやって来ます!
世界で話題を集めた選りすぐりの作品を上映!映画三昧の3日間をお楽しみください。

※上映作品、時間、チケット料金は決まり次第、月刊情報紙ミューズ、HPでお知らせします。

2011.3.27(日) ミューズパイプオルガン スクール生徒発表会

パイプオルガンスクール生による
卒業演奏会。
1年間練習してきた成果を披露します。

開場13時 開演13時15分(予定)

アークホール

入場料無料(全席自由)

出演/平成22年度パイプオルガンスクール
初級クラス生徒

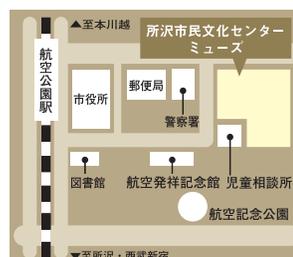
MUSE

TOKOROZAWA



財団法人所沢市文化振興事業団
〒359-0042 埼玉県所沢市並木1-9-1
TEL.04-2998-6500

<http://www.muse-tokorozawa.or.jp>



航空公園駅東口より徒歩約10分